

# 丹沢主要登山道利用実態調査結果速報

倉野修\*・丹沢大山ボランティアネットワーク\*\*

Person trip research on the main trails in the Tanzawa Mountains, 2007

Osamu KURANO\* and Tanzawa Oyama Volunteer Network\*\*

## I はじめに

平成19年4月29日に大山、塔ノ岳、蛭ヶ岳の3山頂で実施した登山道利用実態調査について報告する。

この調査は、丹沢大山総合調査地域再生調査による県民参加調査として実施した9山頂における登山道利用実態調査を引き継ぐものとして、平成18年から丹沢の緑を育む集い実行委員会の支援により丹沢大山ボランティアネットワークが県民協働調査として実施した。

## II 調査方法

丹沢大山の主要な登山道の利用実態を把握するため、大山山頂へ通じる5路線、塔ノ岳山頂へ通じる5路線および蛭ヶ岳山頂へ通じる3路線を選定し、塔ノ岳については、金冷シにも調査点を設け、鍋割山方面と大倉方面の登山道利用実態についても調査した(図-1)。

各山頂では登山道ごとに調査員を配置し、山頂へ向かう登山者を「上り」、山頂から降りる登山者を「下り」として、調査開始から終了までの1時間ごとの登山者数を記録した。

## III 調査結果

山頂別の計測1日当りの上り登山者数は大山2,517人、塔ノ岳1,619人、蛭ヶ岳252人であり、大山は蛭ヶ岳の10倍程となっている(表1~3)。

登山道別の計測1日当りの上り下り登山者数をみると、大山⇔下社方面2,554人、大山⇔見晴台方面1,555人、塔ノ岳⇔大倉方面1,493人の3路線の利用がとりわけ多く、この3山頂で上り下り登山者合計の67.8%を占めている(表1~4)。

今後も、この調査を継続していき、登山者数の推移を把握するとともに、登山道荒廃状況と登山者数の関連等からオーバーユース対策の基礎となるデータの蓄積を図っていく。

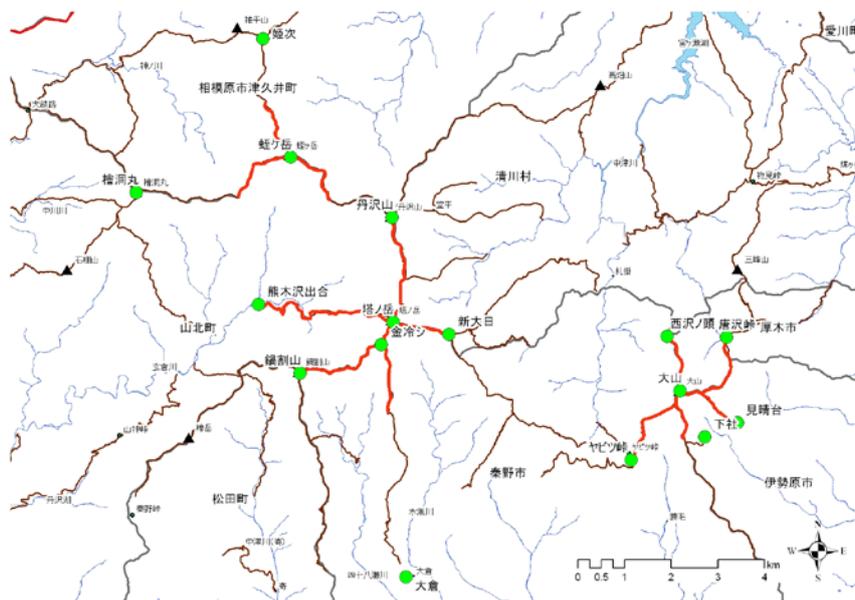


図1 調査山頂及び路線

平成19年度登山道利用実態調査結果表

表1 大山山頂登山道利用実態調査結果表

方面	西沢ノ頭	唐沢峠	見晴台	下社	ヤビツ峠	大山山頂計
上り人数	3	14	247	1,752	501	2,517
下り人数	5	49	1,308	802	318	2,482
計	8	63	1,555	2,554	819	4,999

注:2007年4月29日9:00~15:00調査実施

表2 塔ノ岳山頂登山道利用実態調査結果表

方面	丹沢山	新大日	大倉	鍋割山	熊木沢出合	塔ノ岳山頂計
上り人数	217	565	714	122	1	1,619
下り人数	277	245	779	133	6	1,440
計	494	810	1,493	255	7	3,059

注:2007年4月29日8:00~15:00調査実施

表3 蛭ヶ岳山頂登山道利用実態調査結果表

方面	姫次	丹沢山	檜洞丸	蛭ヶ岳山頂計
上り人数	52	178	22	252
下り人数	86	113	20	219
計	138	291	42	471

注:2007年4月29日7:00~15:00調査実施

表4 大倉尾根登山道利用実態調査結果表

方面	塔ノ岳	鍋割山	大倉尾根計
上り人数	714	31	745
下り人数	779	44	823
計	1,493	75	1,568

注:2007年4月29日8:00~15:00調査実施